

肢体不自由ママ・パパのためのピアサポート

平成30年度 第4回



しゃべり場

ピアサポートとは・・・

「Peer（ピア）＝仲間」 ＋ 「Support（サポート）＝支える」活動のことです。
肢体不自由の方の子育てを支援するため、気軽に集まれ、おしゃべりできる交流の場を開催しました。

- ★日時 平成30年11月10日（土）
午後1時30分～3時
- ★場所 日進市障害者福祉センター
小会議室
- ★対象 肢体不自由で出産を控えている方、
子育てをしている方
- ★参加者 3名



◎ 今回のしゃべり場で出た話題

☆ 新幹線で大阪まで行った話

車いす対応座席の切符を購入するのに、予め電話予約してから当日に駅長室に行ったが案の定、30分以上待たされ、更に新幹線に乗る前も待たされた。前回のしゃべり場で待たされると聞いていたので、余裕をもって早めに駅に着いていたので良かった。新幹線の車いす対応席は決まっているのにどうしてこんなに時間がかかるのか疑問である。

☆ 名古屋大学医学部附属病院にしゃべり場のお知らせに訪問

地域連携・患者相談センターの医療ソーシャルワーカーお二人とお話させていただき、しゃべり場に来ていただけそうな方はいるかお聞きした。

少し前に肢体不自由な方の出産があり、福祉サービスの利用について詳しく知りたいと相談されたので、AJU自立の家さんを紹介したとのこと。今後は、しゃべり場を紹介していただけることになった。

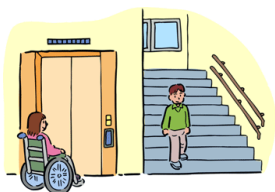
それから、しゃべり場のメンバーに、肢体不自由な方がどういうところに困っているかなど、医師や看護師に教えていただきたいとの要望をいただいた。

☆ 学童保育について



今回参加した方は、小学生のお子さんがいて民間の学童保育を利用している。日進市の民間学童保育は他の市町より充実しているということがわかった。日進の児童クラブが一堂に会する説明会があり、ブースごとに分かれて説明があるため、雰囲気もわかりやすく、子供と一緒に色々なブースを回って決めることができる。日進市外在住のメンバーは、日進市と同じような学童を探したが見つけれなかった。参加したもう1人のメンバーも子供が来年小学生になるので、先輩ママのお話はとても参考になったようだ。

☆ エレベーター



日進市外在住のメンバーの子供が行く小学校はエレベーターがない。授業参観や面談などで学校に行くとき困るという悩みを相談。今どき、エレベーターのない学校があるんだねという話になった。日進市は新しい小学校が多いので、エレベーター完備のバリアフリーの学校が当たり前に見えるが、資金が必要になるため、なかなか難しいようである。

今回のしゃべり場で、日進市の良さを再確認した。

※ 次回の『しゃべり場』

平成31年1月12日（土） 午後1時30分～3時 日進市障害者福祉センター